

国立病院機構佐賀病院における乳癌患者の切除標本を使用して、乳癌に関する研究を行います。本研究は、乳癌の画像所見とそれに相当する病理組織所見（顕微鏡下の所見）がどのように関係するかを調べるもので、様々な種類の乳癌の性格と特徴を明らかにし、乳癌の診断治療の進歩に貢献しようとするものです。

※対象は2007年1月1日以降の乳癌切除標本です。該当される方で、本研究への参加を拒否されたい場合は、下記までご連絡をお願いいたします。本研究に係るデータは削除いたします。

研究代表者：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学 講師 林 洋子

TEL：095-819-7050

E-mail: hayashih@nagasaki-u.ac.jp

研究の詳細は下記のとおりです。

【研究課題名】

スピキュラ乳癌の組織学的特徴

(研究代表者：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学 講師 林 洋子)

【研究の実施場所】

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学

【目的・内容】

マンモグラフィで乳腺腫瘍辺縁に認められる棘状の陰影はスピキュラと呼ばれ、浸潤性乳癌の特徴的な所見とされています。本研究は、スピキュラを示す乳癌の組織学的特徴を明らかにすることで、乳癌の画像診断率の向上に寄与するものと考えます。

【対象】

国立病院機構佐賀病院外科で、2007年1月1日以降の乳癌患者切除標本

【研究期間】

医歯薬（医学系）倫理委員会承認日 ～ 2017年3月

【倫理的問題点等】

本研究はヘルシンキ宣言および臨床研究に関する倫理指針に従い実施されますが、倫理的問題点として、患者情報の漏洩によってプライバシーの侵害が起こる可能性があります。なお、当該研究で試料等提供者に健康被害が起こる恐れはありません。

【試料等提供者またはその家族等の人権の擁護】

本研究はヘルシンキ宣言及び臨床研究に関する倫理指針に従い実施され、研究対象者等の人権の擁護は、プライバシーを守ることを含め十分に配慮されます。

【予測される研究対象者等に対する危険又は不利益】

本研究への参加によって生じる危険または不利益は、患者情報の漏洩によってプライバシーの侵害の恐れが挙げられます。

【試料等提供者に対する健康被害の補償】

ありません。

【個人識別情報を含む情報の保護の方法】

試料等提供者の住所、生年月日及び氏名は削除を行い連結可能匿名化としてデータを保存し、データの保管についてもキャビネットの施錠を行い情報漏洩については十分配慮します。

また対応表は国立病院機構佐賀病院外科にて管理します。

【研究等の期間及び当該期間終了後の試料等の保存又は廃棄の方法】

研究期間中の試料は施錠できるキャビネットで保管し、データについては施錠できるキャビネットに保管します。

研究期間終了日から 5 年間又は研究の結果の最終の公表日から 3 年を経過した日のいずれか遅い方の日まで上記と同様に保管した後、データについては裁断処分します。試料については、研究期間終了後、国立病院機構佐賀病院に返却します。

【研究に関する連絡先】

※ 本研究への参加を拒否されたい場合は、下記までご連絡をお願いいたします。本研究に係るデータは削除いたします。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学 講師 林 洋子

TEL: 095-819-7050

E-mail: hayashih@nagasaki-u.ac.jp